

平成24年4月から福祉型障害児入所施設「ねむの木学園やさしいお家」と加齢児支援のための経過的指定障害者支援施設「ねむの木学園星に祈る」の適用を受けていましたが、みなし規定は令和5年度末で終了となりました。

なお経過的措置とは、人員基準については「者」の人員基準を満たす必要がありますが、設備については「児」相当の基準で足りるとする措置です。

令和6年度4月1日からは「ねむの木学園星に祈る」と「ねむの木学園感謝の心」を統合して現在の感謝の心の施設を中心とした定員60人の施設で、名称は「ねむの木学園星に祈る」として新たに出発します。

理念に基づく事業目標を明確にすることで、職員に法人として施設として歩む方向を容易に理解し、ねむの木学園として、生活の場としての質の向上を図るため、生活経験の拡充を進めていきます。

リハビリテーションの機能を高めて質の高いサービス提供を促進していくために、多面的な役割を果たしている職員の各種研修等による資質向上を図り、コーディネーター等業務の専門分化を目指します。

運営方針

- ① 財務上の運営（介護給付の効率のよい運営）
- ② 処遇上の運営（入所児者の人権擁護と自己実現、人間らしい生活の実現といった質の高いサービス提供）
- ③ 労務上の運営（優秀な人材の確保や職員の労働条件の改善）
コンプライアンス体制の確立
施設内虐待の防止体制に係る規程等の整備
パワーハラスメント、セクシャルハラスメント等の防止体制の組織に係る規程等の整備
- ④ 設備上の運営（設備の維持管理や入所児者のニーズに合わせた設備の新設・改善）

1. 児童・入所者及び教職員の状況

(1) 児童・入所者数（4月1日現在）

施設種別 施設名称	定員	現員（人）		
		男子	女子	計
障害児入所施設 ねむの木学園 やさしいお家	20	5	8	13
障害者支援施設 ねむの木学園 星に祈る	60	32	17	49
共同生活援助 コーラスボーイ	6	4	2	6
合計	86	40	26	67

(2) 特別支援学校の児童・生徒数（4月1日現在）

区分	定員	現員（人）		
		男子	女子	計
小学部	42	4	3	7
中学部	21	0	3	3
高等部	27	10	7	17
合計	90	14	13	27

(3) 教職員数（4月1日現在）

区分	施設種別 施設名称	常勤	パート タイマー	非常勤 嘱託	合計
社会福祉法人	障害児入所施設 ねむの木学園 やさしいお家	10		1	11
	障害者支援施設 ねむの木学園 星に祈る	38	15	2	55
	共同生活援助 コーラスボーイ	2			2
	相談支援事業所 ねむの木の木陰	1			1
	計	51	15	3	69
学校法人	特別支援学校ねむの木	11		6	17
	合計	62	15	9	86

2. 文化的活動

(1) 美術展活動

今年度は美術展を8月に福島県郡山市で予定しています。

(2) 文化資産の知名度を高める活動

美術館、文学館等の文化的資産を周知してもらう。

3. 地域貢献活動

(1) 地域の自然環境の美化に対する取り組み

ねむの木村の周辺地域において、広葉樹や花木の植林を積極的に推進し、四季折々の草花の生育に努め、木々の緑と色彩あふれる草花に囲まれた豊かな自然景観の維持・向上を図っていきます。

(2) 地域の防災力向上に対する取り組み

森林の間伐や下草刈りに励み、ねむの木村周辺地域の山林の保水力を高め、災害防止に努めてまいります。また当法人が所有する各所の建物を災害時の避難場所として提供するほか、緊急時のヘリコプター発着場所を確保しています。

(3) 地域の教育・文化向上に関する取り組み

ねむの木こども美術館や吉行淳之介文学館、茶室和心庵につきましては、感染防止対策を徹底していきます。

また、昨年池のほとりにあるログハウスを改修し、浜岡町にあった旧図書館の蔵書とあわせて「ねむの木図書館」を開館しました。この図書館は、近隣住民等地域の方々にも貸し出しを行い、地域の文化向上に寄与したいと考えています。

(4) 角笛シルエット劇場

影絵の劇団による「角笛シルエット劇場」を主催して市内及び近隣地域の幼少児童を無料招待する活動は、コロナ禍のため中止していましたが昨年度3年ぶりに開催しました。今年度は、6月22日(土)開催予定です。

4. 公益事業

ねむの木村の一番奥の緩やかな傾斜地を利用して、令和6年度も引き続き墓地経営を継続します。

5. 収益事業

令和5年度は主にカレンダーの制作販売を社会福祉法人の収益事業として行いました。絵画の選定やデザインにつきましては、子どもたちの力を借りて行いました。1万部のカレンダーは大変好評を得ることができました。今年度もこの事業とともに、その他様々なねむの木商品の開発・販売を積極的に行い、ねむの木学園の活動をできるだけ多くの人々に向けて発信するとともに、法人経営の基盤となる資金の確保に努めたいと思います。

6. 改修事業等報告及び計画

。報告

- (1) 旧ねむの木子ども美術館・旧ねむの木図書館の建物及び敷地の処分
昨年度学校法人事業として、移転する前に美術館・図書館として使用していた浜岡町の建物を解体し敷地を更地に戻して御前崎市に寄附しました。
- (2) 前年度事業として、再編成のためのねむの木学園やさしいお家及び感謝の心の居室、廊下、壁紙の張り替え工事を行い、風呂場、トイレ改修工事を補正予算を編成して行いました。

。計画

- (1) ねむの木こども美術館「どんぐり」改修工事（社会福祉法人事業）
建築後 20 年余りを経過し、随所に痛みや汚れが目立つため、屋根の葺き替えと併せて全面的な改修工事を行います。
改修工事費 30,000,000 円（施設整備積立金を充当予定）

7. 各種行事

遠足や運動会、クリスマス、お正月、節分などの恒例行事につきましては、昨年度も引き続き新型コロナウイルスの感染拡大という事態の影響を受け、中止したり規模を縮小したりせざるを得ませんでした。今年も感染状況を睨みながらということになりそうですが、少人数のグループで屋外への社会活動等を計画します。

運動会につきましては、毎年実施していた「運動会という名のミュージカル」の形式を計画中です。